



みんなの写真で四万十市の魅力をPRしよう！

「ここが魅力！四万十市」 写真コンテスト



受賞作品 掲 載

平成 28 年 6 月～8 月にかけてコンテストに応募いただいた作品の中から受賞作品を掲載します。四万十市の魅力のつまった写真の数々をどうぞご覧ください。

主催：四万十市

お問合せ：四万十市観光商工課 TEL 0880-34-1783

「ここが魅力！四万十市」写真コンテスト 受賞作品

【 グランプリ 】



「夕日に映える赤鉄橋」

四万十市 谷吉 三男

7月、赤鉄橋夕方。夕日に照らされて、さらに鮮やかに赤く染まった赤鉄橋をとらえた一枚。

【 準グランプリ 】

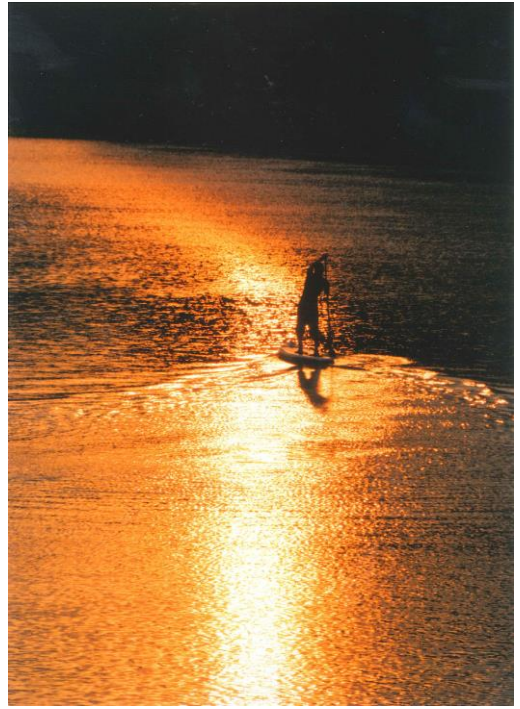


「里山の祭り」

幡多郡黒潮町 宮川 延弘

2015年11月 半家沈下橋 長い沈下橋を渡りお旅所に何う演者行列が水面に映る

【 四万十の風景賞 】



「夕日に映える四万十川」

四万十市 谷吉 三男

8月、三里沈下橋付近。夕日に染まった真っ赤な四万十川を進むサップ(スタンドアップパドルの略称)。贅沢で最高の瞬間をとらえた一枚。

【 四万十の風景賞 】



「白い風景」

四万十市 山本 咲月

雪の中の口屋内の沈下橋です。

【 四万十のくらし賞 】



「匠の技」

四万十市 森本 次男

毎年県内各河川で落ちアユが解禁となる。四万十川もその一つ。朝早くから網漁の川漁師や愛好者で賑わう四万十川の冬の風物詩である。

【 郷土のまつり賞 】



「クライマックス」

宿毛市 野口 務

平成28年7月30日、一条通各提灯台の競演に圧倒されました。本格的な夏を迎え、町内会のパワーが祭りで爆発したのではないかと想像されます。

【 四万十の魅力賞（入選）】



「今日も元気に良いお酒 明日は明日の酒が吹く。酔って西土佐。」

四万十市 佐藤 美穂

今年の3月、県の職員さんの送別会での一枚です。場所は四万十広場バーベキューコーナー。大自然の中でこんなにいい顔して酒が飲める、そこが四万十市の魅力だと思います。



「岩間の沈下橋の風景」
京都府京都市 一木 克彦
岩間の沈下橋の風景



「水祭り」
四万十市 森本 次男
四万十市西土佐権谷地区で新仏があれば毎年8月15日に「新仏供養」が108本のたいまつを燃やして「新仏」の煩惱を払う伝統行事。



「青春の思い出」

四万十市 森本 次男

四万十市立中村西中学校の生徒が開校以来続けている「伝統の筏下り」が毎年行われる。筏はタイヤチューブと合板を組み合わせたシンプルな物。佐田沈下橋から入田のキャンプ場まで下り、悪戦苦闘してゴールし、生徒が夏の思い出を作る。市立西中学校の伝統行事である。



「牛鬼清流を渡る」

四万十市 森本 次男

四万十市西土佐半家地区で毎年11月初旬半家天満宮秋祭りが行われ、県内外から多くの人が沈下橋上を勇壮に渡る牛鬼や神輿・鹿に扮した五鹿などに酔い痺れる、集落総出で支える伝統行事。
撮影 2014.11



「紫陽花のある風景」

四万十市 上田 裕之

今月安並に行って撮影。
梅雨の憂鬱な気分も、この紫陽花と水車を見ると自然と晴れていくような気がします。



「四万十の夕景」

四万十市 倉本 俊明

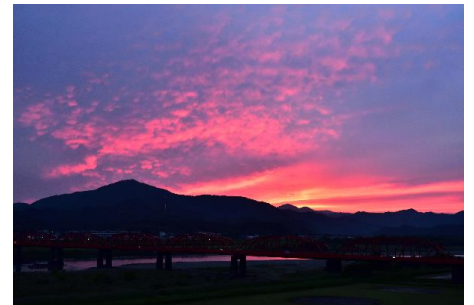
2015年4月26日 香山寺山から具同方面の水田を撮影
田植えの頃の水田に夕陽が光る景色は、日本の原風景だと思う。夕闇に人工物が隠されるので、古き良き四万十の原風景が見られるスポット。



「ホタル乱舞」

四万十市 倉本 俊明

2015年5月24日 山路川にてホタルの乱舞を撮影。
人工の明かりがほとんどない場所なので、純粋にホタルの明かりを楽しめるスポット。



「赤鉄橋の夕景」

四万十市 倉本 俊明

2016年5月19日 堤防から撮影
四万十市のランドマークの赤鉄橋の上に、綺麗な夕焼けが現れました。

【 四万十の魅力賞（入選）】



「提灯台」

四万十市 倉本 俊明

2016年7月30日 しまんと市民祭・提灯台を撮影。夏祭りの夜に、提灯台を歌に合わせて担ぎ、練り歩く。交差点などでは提灯台を回し、掲げ上げる。



「水車の郷」

四万十市 橋本 純一

H28年6月初旬、安並、濃霧の夜明け前の風景を撮りました



「川漁師」

幡多郡黒潮町 宮川 延弘

2013年12月 三里沈下橋 清流四万十川で見事な伝統投網漁



「いつも渡る」

幡多郡黒潮町 宮川 延弘

2015年4月 佐田沈下橋 車や人が渡る生活橋に菜の花が彩る



「雨あがり」

四万十市 山本 咲月

台風のアとの四万十川の風景です。入田側から百笑にレンズを向けました。



「爽・岩間沈下橋」

四万十市 谷吉 三男

3月、岩間沈下橋。すがすがしい空気と照り付ける太陽の光が、四万十川、沈下橋を一層引き立てているように感じて撮った一枚。



「黒尊の釣り人」

四万十市 来住 裕子

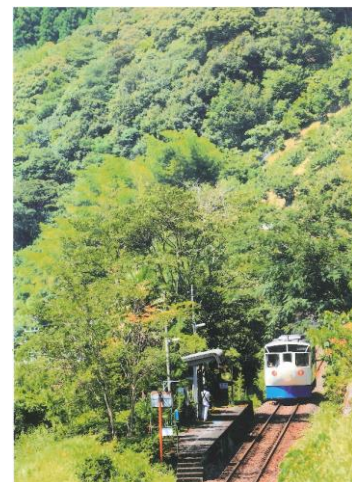
澄んだ川で釣りをする知り合いです。



「皿踊り」

四万十市 来住 裕子

残していきたい伝統芸能です

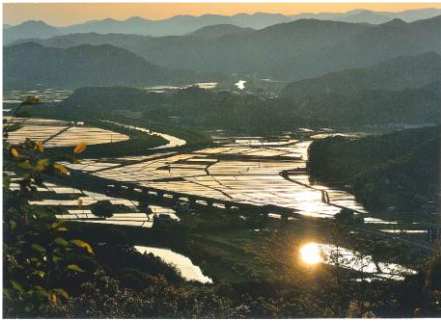


「平家の里に新幹線」

四万十市 山口 瞳

半家駅、7月頃

【 四万十の魅力賞（入選）】



「香山寺から望む金色の水田」
四万十市 谷吉 三男

3月、間方面。夕暮れ時、田植え前の水田に夕日があたって金色に輝いている瞬間を撮った一枚。



「新緑の三里沈下橋」
四万十市 谷吉 三男

春を迎え、川面に映る新緑のすがすがしい色と静かにたたずむ沈下橋の様子を写した一枚。



「夕間暮れ」
四万十市 谷吉 三男

春を迎え、川面に映る新緑のすがすがしい色と静かにたたずむ沈下橋の様子を写した一枚。



「夕日のスープ」
四万十市 谷吉 三男

7月、三里沈下橋付近。四万十川のゆったりした流れに乗って行く、夕暮のサップは、最高に心安らぎ、リラックスでき、疲れを癒してくれる。この写真を見る人も癒せるかな・・・。



「エメラルドグリーン四万十」
四万十市 谷吉 三男

5月、勝間近く。ゆったりとした流れ、周りの自然を映し込んで、人も山も全てを包み込んでいく雄大な四万十川の姿と色を象徴している写真。



「梅雨の沈下橋」
四万十市 谷吉 三男

雨にかすむ山々、四万十川も少し寂しそうに見えるが、なぜか沈下橋と屋形船はより鮮やかに浮かび上がって見える景色をとらえた一枚。



「川天国」

奈良県奈良市 岩本 哲仁
真夏の四万十川でカヌーツアーに遭遇！四万十川にカヌーはお似合い！川天国！カヌー天国！自然天国！



「清流」

奈良県奈良市 岩本 哲仁
自然が残り、清流があり、心の贅沢感溢れる時を過ごした！純に川だけ見ていだけで、満足感が...



「夢新幹線」

奈良県奈良市 岩本 哲仁
春に訪れた時に初めて見た。おとぎの国みたいに思えた。もう画家さんになりました。

【 四万十の魅力賞（入選）】



「カヌー天国」

奈良県奈良市 岩本 哲仁

四万十川下流で沈下橋の上から撮影しました。真夏の時期で、カヌーを漕いでいる人達は、とても楽しそうでした。



「ちりん！ちりん！」

奈良県奈良市 岩本 哲仁

夏の岩間沈下橋で、偶然に出会った素敵感あるショット！幸せいっぱい！楽しさいっぱい！四万十川には自転車が、お似合い！



「みこし洗い」

宿毛市 野口 務

平成 28 年 8 月 7 日 不破 四万十川
毎年盛夏に行われる神輿洗い。最近では担ぎ手も少なくなりましたが、伝統を守る地域の方々に頭が下がります。



「青い刻（あおいこく）」

四万十市 山辺 福美

2013 年 6 月 3 日 黒尊川、口屋内で撮影
川が大きくカーブした先に一軒灯りが見え、そこにホタルが飛び始めると、とても幻想的で原風景が見えます。



「雨上り（あめあがり）」

四万十市 山辺 福美

2016 年 8 月 4 日 半家沈下橋
突然の大雨と雷の後、霏がかかり、まだ小雨が降る中撮っていると青空がのぞく。今でも重要な生活道となっています。



「送り火の夜」

四万十市 市川 恭子

H25 年 8 月 22 日送り火の夜、数分で終わる炎を見ている女性が居りましたので後姿を撮らせて頂きました。毎年大文字の送り火は行かせてもらっています。幡多の小京都といわれる中村は、京都の送り火に思いをはせ乍ら夏も終わりが近いことを想う夜です。間崎地区の大人も小人も集会所の前の広場へ集まり、踊ったり色々な催し物をし、夏の思い出として忘れることはないでしょう。



「女郎ぐもの相撲」

愛媛県伊予市 福本 満

2016.8.6（四万十市） 全国で 2ヶ所しかないような女郎ぐもの祭（イベント）。大事に四万十市で残してください。



「星の通り道」

愛媛県四国中央市 足立 満実子

土佐西南大規模公園にある星空観測広場にて。2016 年 5 月 5 日撮影。夜には蓄光石という人工石で足元に天の川が浮かび上がりますが、天気が良ければ上空にも天の川が浮かび上がり、2つの天の川が楽しめます。もっとみんなに知ってほしい素敵なお四万十市の星空スポットです。